

群馬大学医学部 統合和漢診療学講座活動報告

教授	小暮 敏明	Toshiaki Kogure
講師	巽 武司	Takeshi Tatsumi
助手	伊藤 克彦	Katsuhiko Itoh
助手	佐藤 浩子	Hiroko Sato
事務補佐員	関口みさ子	Misako Sekiguchi

研究概要

和漢診療・漢方治療の臨床研究（難治性疾患：リウマチ性疾患やアレルギー・慢性炎症性疾患への臨床応用とその作用機序の解析）のほか、老年医療の疾病マネジメントやプライマリケア分野での臨床研究を多数遂行中である。また、平成15年4月の本学の大学院・社会環境医療学：総合医療学の設置にともない、その協力講座として、生体情報学、医学哲学・倫理学、情報医療学と連携して研究に取り組んでいる。加えてプロジェクト棟の完成によって実験室100/m³が確保され、科学研究費研究課題等を中心に、臨床・基礎研究を幅広く達成し得るようになっていく。

また4月1日より小暮敏明の教授就任にともない、本講座（分野）は大学院・社会環境医療学講座（チアマン：小山洋教授・公衆衛生学）に組み込まれ、分野研究に加えて、大講座の重点研究に関与するようになっていく。

診療活動

2006年2月1日から和漢診療科として外来診療を行っている。外来は月曜日から金曜日までの週5日間、週に延べ10診を開き診療にあたっている。いわゆるプライマリーケアの疾患から特定機能病院での対応が必要となる難治性疾患まで幅広い患者層に対して対応している。おもな特定疾患は、強皮症、全身性エリテマトーデス、悪性関節リウマチ、ベーチェット病、ウエゲナー肉芽腫症、潰瘍性大腸炎、クローン病、パーキンソン氏病などで、当科単独あるいは他科併診で診療を行っている。治療法は、漢方薬煎剤を基本として、適宜、医療用漢方エキス製剤と西洋薬を併用している。

また昨年度から診療協力病院として館林厚生病院（臨床研修指定病院）で巽武司講師が和漢診療を開始した。

症例カンファレンスは週1回（水曜日）行い、東洋医学的な診断および治療法について検討を行っている。また、総合診療部との合同カンファレンス（週1回：月曜日）では、東洋、西洋にかかわらず最新のトピックスについて議論している。

教育活動

教養教育として1年次に学修原論「かしこく健康に生きる」、学修原論「医学と社会」を行い、医学部専門科目として3年次では、主要症候と病態生理、薬理学、で漢方薬概論と東洋医学の基本的な考え方・診察法を講義している。実習では、医学科1年次の早期体験実習、医学科5年次での臨床実習（ポリクリ）、医学科6年次での卒前臨床実習を担当している。

また大学院・社会環境医療学（統合和漢診療学分野）として大学院生の指導にあたっている。

国際交流としてインドネシア・パジャジャラン大学医学部4年生・5名に対して本学での和漢診療学・和漢診療科への取り組み、実際の和漢診療の概略についてレクチャーと実習を行った（9月）。

著書

- 1) 小暮敏明：漢方処方の副作用と相互作用．臨床研修医のための漢方医学入門 協和企画：108-111、2006
- 2) 小暮敏明、巽 武司：和漢診療 ところとから合わせて相談．群馬大学研究室から新時代への視点 群馬大学地域連携室（GURPO）編 上毛新聞社出版局：148-150、2006

総説

- 1) 佐藤浩子、佐藤真人、倉林正彦．低酸素と動脈硬化，血栓形成．血管医学．7:63-8.2006

原著

- 1) Doi H, Iso T, Sato H, Yamazaki M, Matsui M, Tanaka T, Manabe I, Arai M, Nagai R, Kurabayashi M. Jagged-1-selective notch signaling induces smooth muscle differentiation via a RBP-Jkappa-dependent pathway. J Biol Chem. 281: 28555-64. 2006
- 2) 佐藤浩子、佐藤真人、坂本浩之助、澤田芳枝、星野綾美、宮崎有紀子、佐藤久美子、小暮敏明、倉林正彦、田村遵一：健康な地域住民における脈波速度と炎症マーカーの関連性について．北関東医学56： 201-206 2006

症例報告

- 1) Kogure T, Hoshino A, Ito K, Sato H, Tatsumi T, Ohyama Y, Kawata E, Fujita K, Tamura J. Beneficial effect of complementary alternative medicine on lymphoedema with rheumatoid

arthritis. Modern Rheumatol. 15: 445-449 2005
(前年度未掲載)

- 2) Mantani N, Ito K, Kogure T, Hoshino A, Kawada E, Sakamoto H, Fujita K, Tamura J. A decade-long sour-taste sensation successfully treated with a proton-pump inhibitor. J Oral Rehabil. 32: 776-778. 2005 (前年度未掲載)
- 3) 関矢信康、地野充時、小暮敏明、巽 武司、喜多敏明、寺澤捷年：真武湯が奏効したアレルギー性鼻炎の2症例。日本東洋医学会雑誌 57: 213- 216 2006
- 4) 福田秀彦、巽 武司、名取通夫、長坂和彦：百合固金湯が咽の乾燥感を伴う症状に有効であった4症例。日本東洋医学会雑誌57: 449-452 2006
- 5) 関矢信康、地野充時、小暮敏明、巽 武司、引網宏彰、柴原直利、喜多敏明、寺澤捷年：腸癰湯が有効であった9症例に基づく使用目標の検討。日本東洋医学会雑誌57: 443-448 2006
- 6) 関矢信康、並木隆雄、笠原裕司、小暮敏明、巽武司、大野賢二、林克美、地野充時、寺澤捷年：滋陰至宝湯の使用経験。日本東洋医学会雑誌57: 661-667 2006

学会発表

- 1) 櫻谷昌孝、星野綾美、伊藤克彦、川田悦夫、藤田欣一、田村遵一、佐藤浩子、巽 武司、小暮敏明、大山良雄：CA19-9疑陽性の一症例。第14回日本総合診療医学会学術集会 山口 3月
- 2) 佐藤浩子、田中亨、山崎美紀、斉藤勇一郎、土井宏、倉林正：Bone forming transcription factor Cbfa1 induces osteoblastic differentiation and represses SMC phenotype in vascular SMC. 第70回日本循環器学会総会 3月 名古屋
- 3) 小暮敏明、巽 武司、酒井伸也、藤永 洋、嶋田 豊、寺澤捷年：RA患者における抗CCP抗体価の推移に関する検討。第50回日本リウマチ学会総会・学術集会/第15回国際リウマチシンポジウム 4月 長崎
- 4) 小暮敏明：シンポジウム2「病名治療のできる漢方、随証治療だからできる漢方」疼痛性疾患における証と疾患との関連に関する一考察。第57回日本東洋医学会総会 6月 大阪
- 5) 新沢 敦、小暮敏明、田原英一、二宮裕幸、新谷卓弘、嶋田 豊。ラウンドテーブルディスカッション1「劇的に効いた漢方の経験：ベストケースをエビデンスとするために」関節リウマチに補中益気湯加減が奏効した2例。第57回日本東洋医学会総会 6月 大阪
- 6) 巽 武司、小暮敏明、星野綾美、佐藤浩子、伊藤克彦、笠原裕司、長坂和彦、寺澤捷年、田村遵一：不眠に対し酸棗仁湯合当帰芍薬散が有効であった症例。第57回日本東洋医学会総会 6月 大阪
- 7) 星野綾美、小暮敏明、佐藤浩子、伊藤克彦、巽 武司、田村遵一：柴陷湯が奏効した難治性の舌痛症の一例。第57回日本東洋医学会学術総会、6月 大阪
- 8) 笠原裕司、並木隆雄、関矢信康、地野充時、林 克美、大野賢二、寺澤捷年、喜多敏明、小暮敏明、巽 武司：茯苓四逆湯が奏効したMRSA感染症の一例。第57回日本東洋医学会学術総会、6月 大阪
- 9) 佐藤浩子、巽 武司、星野綾美、伊藤克彦、小暮敏明、田村遵一：9年間日常生活に支障をきたしていた易疲労感に対し、補中益気湯が奏効した一例。第57回日本東洋医学会学術総会、6月 大阪
- 10) 福田秀彦、長坂和彦、巽武司、引網宏彰、名取通夫：黄耆の臨床利用について。第57回日本東洋医学会学術総会 6月 大阪
- 11) 小暮敏明：リウマチ性疾患の臨床ー最近の症例からー。第24回湯本求真学術講演会、9月 金沢
- 12) 小暮敏明：学術教育委員会からのアンケート結果報告と問題提議。第1回日本東洋医学会漢方医学教育標準化のためのワークショップ、9月 東京
- 13) 巽 武司：漢方医学教育の現状 群馬大学。第1回日本東洋医学会漢方医学教育標準化のためのワークショップ、9月 東京
- 14) 巽 武司、佐藤浩子、小暮敏明：原因不明の強膜炎に明朗飲が奏効した1例。第16回漢方治療研究会、9月、東京
- 15) 星野綾美、巽 武司、奥 裕子、佐藤浩子、伊藤克彦、小暮敏明、田村遵一：上背部痛と嗝声を伴う男性更年期症候群に桂枝茯苓丸が奏効した一例。日本東洋医学会関東甲信越支部2006年度群馬県部会教育講演会 11月 高崎
- 16) 奥 裕子、巽 武司、星野綾美、佐藤浩子、田村遵一、小暮敏明：八味地黄丸が有効であった舌痛症の1症例。日本東洋医学会関東甲信越支部2006年度群馬県部会教育講演会 11月高崎
- 17) 鈴木智広、柴田信義、巽 武司、小暮敏明：香蘇散が有効だった心的外傷後ストレス障害の1例。日本東洋医学会関東甲信越支部2006年度群馬県部会教育講演会 11月 高崎
- 18) 佐藤浩子、奥 裕子、星野綾美、巽 武司、小暮敏明、田村遵一：当院女性専用外来の現状と、和漢薬の使用状況。日本東洋医学会関東甲信越支部2006年度群馬県部会教育講演会

11月 高崎

その他

- 1) 岡部哲郎 佐藤弘 小暮敏明 北村聖：現代に生きる漢方－2006年新春特別座談会 Vita 23:4-19 2006
- 2) 小暮敏明：第2回前橋漢方アカデミー 1月 前橋
- 3) 小暮敏明：漢方処方箋の鑑別のために～リウマチ性疾患での経験から～ 池袋漢方講座 1月 東京
- 4) 小暮敏明：補剤の応用～基礎と臨床～ 池袋漢方講座 2月 東京
- 5) 小暮敏明：疼痛疾患に対する漢方治療 痛みと漢方セミナー 2月 松本
- 6) 小暮敏明：臨床研修医のための漢方処方シリーズ 覚えておきたい漢方概論 メデカルトウデイ BS communications (ラジオ短波) 3月
- 7) 小暮敏明：第3回前橋漢方アカデミー 3月 前橋
- 8) 巽 武司：漢方で快適キャンパスライフ。東洋医学研究会勉強会 4月 前橋
- 9) 巽 武司：和漢診療学の基礎。東洋医学研究会勉強会 6月 前橋
- 10) 小暮敏明：第4回前橋漢方アカデミー 7月 前橋
- 11) 巽 武司：漢方薬の副作用。薬剤師のための和漢診療勉強会 7月 前橋
- 12) 小林節雄、小暮敏明：Kampo avenue 座談会 呼吸器領域における漢方の役割。WE: 15 2-6 2006
- 13) 小暮敏明：公開講座 からだの智慧とその実践講座－自分を磨く (Part III) 第2日 和漢診療学 7月 前橋
- 14) 小暮敏明：和漢診療学 一歩みと今後の展望－。第 回群馬総合医療学研究会 7月 前橋
- 15) 小暮敏明：漢方薬の臨床と基礎－複合薬物としての研究方法論－。第115回日本薬理学会 関東部会/第34回薬物活性シンポジウムランチョンセミナー、9月 前橋
- 16) 小暮敏明：和漢診療 薬と食事について サロンなでい公開セミナー 8月 前橋
- 17) 小暮敏明：漢方薬の特徴と治療。平成18年度 群馬大学公開講座3地域をテレビ電話で結びながら考える「くらしと健康」 8月 前橋
- 18) 佐藤浩子：最新の統合医療プログラムの紹介 第1回統合医療 (Integrative Medicine) 夏期セミナー 8月 東京
- 19) 巽 武司：頻度の多い症状と漢方薬Part 1。薬剤師のための和漢診療勉強会 9月 前橋
- 20) 巽 武司：身近な漢方と薬草 ～医女チャン

グムの薬草の知識をおさらいして～ 薬と健康フェア 11月 前橋

- 21) 巽 武司：風邪の漢方治療。東洋医学研究会勉強会 10月 前橋
- 21) 巽 武司：頻度の多い症状と漢方薬Part2。薬剤師のための和漢診療勉強会 11月 前橋